

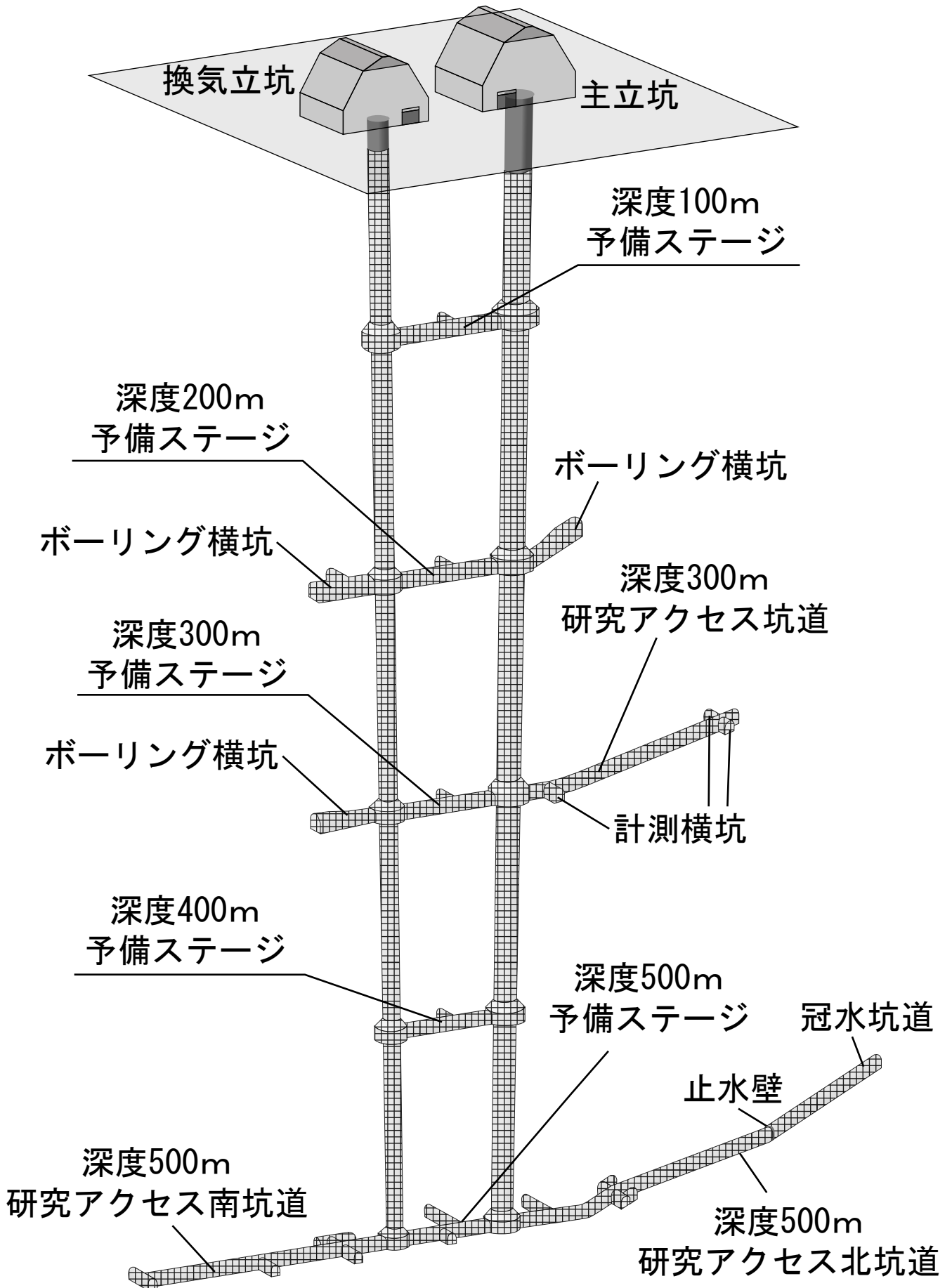
## 東濃地科学センターの状況

1. 瑞浪超深地層研究所研究坑道埋め戻し
  - ・主立坑:地上施設解体  
換気立坑:地上施設解体
  - ・坑内外設備の維持管理
  - ・瑞浪超深地層研究所からの排水 排水処理後放流終了(最終放流日:2021/5/14、2021/5/1~5/14の平均排水量:10 m<sup>3</sup>/日)
2. 土岐地球年代学研究所施設運転状況
  - ・加速器質量分析装置(AMS):<sup>14</sup>C測定終了(6/11~6/17)、<sup>36</sup>Cl測定中(6/18~)
3. 地質環境の長期安定性に関する研究
  - ・調査技術の開発・体系化を継続
  - ・長期予測・影響評価モデルの開発を継続
  - ・年代測定技術の開発を継続
4. 地下水の環境モニタリング調査
  - [瑞浪超深地層研究所用地]
    - ・深度300mのボーリング横坑(換気立坑)における鉛直ボーリング孔(09MI17-1・09MI19号孔)を用いた地下水水圧観測を継続
    - ・深度100m、深度200m、深度300m及び深度400mの水平坑道(予備ステージ)における水平ボーリング孔(05MI01・07MI07・09MI20・10MI26号孔)を用いた地下水水圧・水質観測を継続
    - ・深度300m研究アクセス坑道における水平ボーリング孔(10MI23号孔)を用いた地下水水圧観測を継続
    - ・深度300m研究アクセス坑道における水平ボーリング孔(09MI21号孔)を用いた地下水水圧・水質観測を継続
    - ・深度500m研究アクセス南坑道における水平ボーリング孔(12MI32号孔)を用いた地下水水圧・水質観測を継続
    - ・深度500m研究アクセス北坑道におけるボーリング孔(12MI33)を用いた地下水水圧・水質観測を継続
    - ・深度500m研究アクセス北坑道におけるボーリング孔(13MI39~41)を用いた地下水水圧観測を継続
    - ・深度500m研究アクセス北坑道、予備ステージ、冠水坑道での地下水水圧・水質観測を継続
    - ・地表からのボーリング孔(MSB-1-4・05ME06号孔・MIZ-1号孔)を用いた地下水水圧・水質観測を継続
    - ・換気立坑接続部(深度500m、深度400m、深度300m、深度200m、深度100m)での水圧・水質観測を継続
    - ・主立坑、換気立坑での地下水水質観測を継続
  - [正馬様用地]
    - ・地表からのボーリング孔(AN-1, MIU-2~4号孔)を用いた地下水水圧観測を継続
  - [広域地下水流動研究対象地域]
    - ・地表からのボーリング孔(DH-2, 10, 11, 13, 15号孔)を用いた地下水水圧・水質観測を継続
5. 瑞浪超深地層研究所環境調査
  - ・流量観測を継続(狭間川)
  - ・水位観測を継続(研究所周辺井戸)
  - ・研究坑道掘削土に関する環境管理測定を継続
  - ・環境保全協定に基づく排水水等の測定を継続
  - ・騒音・振動調査を実施(研究所用地周辺)
6. 瑞浪超深地層研究所における施設利用等
  - ・東濃地震科学研究所の施設利用(研究坑道内に設置した応力計、地震計及び水圧計による観測)を継続

## 7. その他

- ・東濃地科学センター「サイエンスカフェ（我々はなぜ人類誕生以前の歴史をすることができるのか）」を開催予定（6/26）
- ・東濃地科学センター「サイエンスカフェ（温泉はどこから来たか?）」を開催予定（7/24）
- ・東濃地科学センター「サイエンスカフェ（鉱物が光る？発光現象をつかった年代測定）」を開催予定（8/28）

坑道埋め戻し状況 (2021. 6. 18現在)



埋め戻し完了範囲